



バイブルの愛

～永遠の命～

発行：堺市東区南野田 364-7 2018. 4月
北野田キリスト教会 牧師：丸岡
(駅から3分、線路沿い)
TEL 072-235-0522
kitanoda@wonder.ocn.ne.jp
<http://www.kitanoda.net>

「音楽の神様・モーツァルトに憧れていた一人の子どもがいました。16歳の時には、憧れのモーツァルト(当時30歳)の前でピアノを弾き『みんな、この少年を覚えておきたまえ』とモーツァルトに言わしめています。さらに数年間、演奏家としての訓練を積み、これからという時に彼を不幸が襲います。『耳鳴り』が始まったのです。やがて、それは段々ひどくなり、完全に耳は聞こえなくなりました。演奏家として『耳が聞こえない』のは致命的です。彼は自暴自棄になり、遺書を残しました。『この6年間、治る見込みのない病気がわたしを苦しめている……』彼は、その後どうしたのでしょうか。自殺を思いとどまりました。音を失っても音楽への情熱は止められなかったのです。そっと遺書をしまい、自分の人生に向き合いました。

彼の名はルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン。まだ耳が聞こえていた時代に作った交響曲は1番だけ。その後の交響曲2番以降はすべて『耳が聞こえなくなってから』作ったものです。子ども時代の『音の記憶』を頼りにしたり、楽器自身が震える振動から『音を判断』して、曲を作ったと言われています。彼は、人生を一度は諦めかけましたが、そこからやり直して偉大な音楽家として道を歩み始めました。……あなたは情熱をかけられるものがありますか？

(「幸せになる勇氣」超訳マザー・テレサ より)



「いつまでも残るものは信仰と希望と愛です。
その中で一番すぐれているのは愛です。」
(聖書)

「愛」…人間が一番慕い求めるものですが、聖書には「愛は寛容であり、愛は情け深い。またねたむことをしない。愛は高ぶらない、誇らない、不作法をしない、自分の利益を求めない、いらだたない、恨みをいだかない。不義を喜ばないで真理を喜ぶ。そして、すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを耐える。愛はいつまでも絶えることがない…」とあって、かなり崇高な愛。この愛で愛されているのが、何と！私たちなのです。自分は誰にも愛されていない…と思っても、人を創造された神は、全ての人間を愛しておられます。こんな自分を??

聖書に「神はわたしたちの罪のために、罪を知らないかた(キリスト)を罪とされた。それは、わたしたちが、彼(キリスト)にあって神の義(正しい者)となるためなのである」とあります。心に自己中心という罪を抱えている私たちですが、この罪を神の御子イエス・キリストに負わせて、彼を十字架上で裁かれたのです。だから…

(裏面をどうぞ……)

私たちが罪に問うことはされないのです。「神はそのひとり子(キリスト)を賜ったほどに、この世(あなた)を愛して下さった……」(聖書) あなたを愛する愛は、神のひとり子を犠牲にされたほどですから、驚くほど大きく深いものなのです!だから、「神は愛なり」(聖書) なのです。この父なる神の愛をぜひあなたも知って下さい。



イースター特別企画 ご案内

「聖書と音楽で綴るキリストの生涯」

— 十字架・復活・そして

人に与えられた希望と永遠 —



2階の礼拝室

☆とき 4月29日(日) 開演13:30~

☆会場 「北野田キリスト教会」(駅から徒歩3分)

☆お子様もご一緒にどうぞ!

無料



今宵の
星野富弘さん
詩集より



「星野富弘さん詩画集より」

「いつかはわからないが、神様が用意してくれている本当の私の死の時まで、胸を張って一生懸命生きよう」星野富弘



駅から線路沿いに南へ3分。車でのお越しは、地図通り、西除川に沿って。カーナビは使えません。すみません。P有。

東区南野田 364-7 ☎072-235-0522

